



# 鼓童の 交流公演

「学校での鑑賞会」「一般向け公演」のご案内

# 一般向け公演

世界中で高い評価を得ている  
鼓童の舞台を  
親しみやすい形で、  
あなたの街で。

本物の音を、より近くで。「太鼓って楽しい！」  
「観て、聴いて、叩いて太鼓の魅力を五感で  
感じてもらえるような舞台」をコンセプトに、  
太鼓体験や演奏者の語りを交え、迫力とエネ  
ルギー漲る鼓童の舞台をお届けします。小  
さめの劇場空間での一般対象公演。和太鼓や  
鼓童の公演が初めての方、お子さまからおじ  
いちゃん、おばあちゃんまでご家族で楽しん  
でいただける内容です。



## 公演の概要

**会場** 〈学校〉 体育館など固定座席でない  
フラットなスペース

〈一般公演〉 300～700人収容の会場

**編成** 出演者数 5～7名

**内容**

- ・太鼓や和楽器の演奏（6～7曲）
- ・鼓童や楽器の紹介
- ・体験コーナー（約15分）

構成メンバーや演奏曲目は毎年変わります。

公演時間

60分プログラム 小学校・中学校・高校向け  
90分プログラム 中学校・高校向け  
途中休憩15分含む 90分 一般向け



**開催時期** 通年で対応致します。

**出演料** お気軽にお問い合わせください。  
学校合同での公演も行っております。  
支援学校、幼稚園での公演実績もございます。

## 学校公演実績

1999年開始当時からの鑑賞者数 累計38万人  
2016年は全国 15 都道府県の 71 校

# 学校での鑑賞会

身体まるごとで感じる、本物の響き。  
やわらかなこころを、  
びっくりさせたい。

「できるだけ近い距離で本物の音をお届けし、和太鼓や和楽器の楽しさを感じてもらいたい」という熱いメッセージのこもったプログラムです。耳だけでなく床から伝わる振動も感じて、太鼓の魅力、太鼓を打つ楽しさが全身で味わえます。驚いたり笑ったりする子ども達の純粋な反応に、演奏者も直球勝負で向かっていきます。太鼓を叩く鼓童メンバーと身近に接することで、元気や勇気、自信や希望、そして自分自身の発見につながるきっかけがもてる公演です。

学校教育の中でも、太鼓や和楽器を見たり聞いたりする機会も増えてきました。1999年から始まった「交流学校公演」は、全国各地を巡りこれまでに累計38万を超える子ども達に観賞いただいております。

通常は学校の体育館で公演いたしますが、劇場を利用しての公演も可能ですので、お問い合わせください。



## 学校公演 一日のスケジュール（例）

8:00 学校へ到着、楽器搬入、仕込み、リハーサル  
(準備に約2時間ほどかかります)

10:00 生徒・児童入場

10:15 開演

終演後 搬出作業、学校を退出

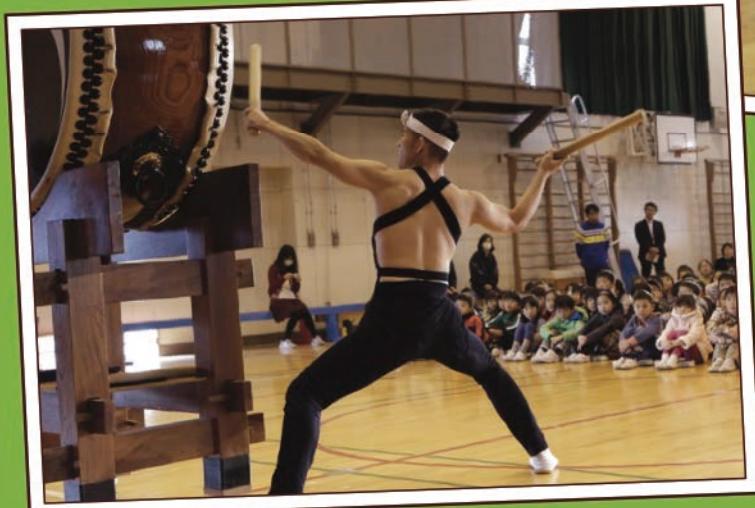
(終演から約1時間が退出の目安になります)

## いただいた感想



- おおだいこがむねのなかまでとどいてどきどきむねがゆれました。／小学1年生
- 太鼓をたたいている時、どんな汗をかいても暑くても、みんなの前でつかれている顔を出さずにずっと笑顔で太鼓をたたいている姿がとてもかっこ良かったです。みなさんから学んだようにどんなにきつくとも、それに負けず、何事にもあきらめない心を持って、一生懸命勉強や部活などをがんばりたいです。／中学1年生
- 七人全員で演奏されたときは、みなさんが顔を真っ赤にして演奏されていて、一生懸命さがもの凄く伝わってきました。みなさんの歌声、かけ声、音、必死な姿、明るさ、そして笑顔には、伝えようとする気持ちが詰まっていて、嬉しかったし、おもしろかったし、感動しました。自分のしたい事、好きな事で誰かを感動させられるって、いいなあと思いました。日本っていいなあとも思いました。本当にありがとうございました。お疲れさまでした!!!／中学2年生
- なんだか今までのストレスなどが一気に飛んで行ったような気がします。太鼓のリズムに合わせて勝手に体が動いていて、やっぱり太鼓の力はすごいなと思いました。／高校生
- 鼓童の皆さんと会場が一体化したような不思議な空気に包まれました。また体験コーナーでは、児童にとって、とてもよい経験になり音楽への興味・関心が広がったように思います。／小学校教諭
- 子供達の感受性が乏しくなってきており、今日この頃、言葉では表せない何かを得ることができた一日になったと思います。／中学校教諭

太鼓は誰が叩いてもすぐに音が出ます。叩く人の気持ちがそのまま音になるのです。  
 強い音、優しい音、楽しい音、悲しい音。さあ、聞こえてくる太鼓の音はいったいどんな音?  
 耳を澄ませて、ときには踊って、太鼓で楽しい時間を私たちと一緒に過ごしませんか。



## 太鼓芸能集団 鼓童

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見いだし、現代への再創造を試みる集団。打ち手によってたたき出される響きは、聴く者の身体に強く働きかける。1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。1年の1/3を海外、1/3を国内、1/3を本拠地・佐渡島で過ごし、これまでに49ヶ国6,000回を超える公演を行う。異ジャンルの優れたアーティストとの共演、世界の主要な国際芸術祭、映画音楽等へ多数参加。2012年より2016年まで歌舞伎俳優・坂東玉三郎を芸術監督に招聘。

## 主な受賞歴

1991年（平成3年）日本ゴールドディスク大賞アルバム部門受賞  
 1995年（平成7年）第37回日本レコード大賞特別賞受賞  
 2012年（平成24年）第33回松尾芸能賞優秀邦楽賞受賞

## 主な国際芸術祭・国際イベント出演

1981年（昭和56年）ベルリン芸術祭  
 1984年（昭和59年）ロサンゼルス・オリンピック芸術祭  
 1998年（平成10年）長野オリンピック文化・芸術祭  
 2001年（平成13年）ノーベル平和賞コンサート（100周年記念）  
 2002年（平成14年）2002 FIFA World Cup Korea/Japan™ 公式イベント  
 2006年（平成18年）フジロックフェスティバル'06  
 2011年（平成23年）英国王室臨席「The Royal Variety Performance」